

多摩テクノプラザ 「技術交流会2014」開催

参加無料

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」）**多摩テクノプラザ**では、研究員と中小企業の方々が交流し連携を深めるため、**平成26年2月6日「技術交流会2014」を開催**します。

多摩テクノプラザの支援技術の事例紹介ほか、特別講演「ロボット創造学入門」（東京工業大学名誉教授 広瀬茂男氏）を行います。また、連携機関である首都大学東京産学公連携センター、日本政策金融公庫多摩創業支援センターからは、中小企業者向けの情報提供を行います。

日 時：平成26年2月6日(木) 13:30～17:10

場 所：公益財団法人東京都中小企業振興公社 多摩支社 大会議室（昭島市東町3-6-1）
（17:15～ イブニングセッションとパネル展示 多摩テクノプラザ会議室4）

定 員：80名

内 容：多摩テクノプラザの技術支援事例紹介(4テーマ)
連携機関発表

「大学のノウハウの使い方」

首都大学東京 産学公連携センター

コーディネート担当係長兼統括コーディネータ 中西俊彦 氏

「日本公庫のベンチャー向け融資制度のご案内」

日本政策金融公庫 多摩創業支援センター 眞崎恵介 氏

特別講演

「ロボット創造学入門」

東京工業大学名誉教授 SMS創造開発センター特別研究員

立命館大学客員教授・株式会社ハイボット取締役CTO 広瀬茂男 氏

イブニングセッション（17:15～ 会費1000円）

参加者・講師・研究員が、飲み物とともに、パネル展示会場で懇談

※詳細プログラムは、別紙チラシ参照

申込方法：（1）ウェブサイト <http://www.iri-tokyo.jp/> から直接申込
（2）申込用紙記入の上 FAX（042-500-2397）または
電子メール（tamakenshu@iri-tokyo.jp）で送付

問い合わせ：多摩テクノプラザ 総合支援課（TEL 042-500-2300）

【お問い合わせ】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

多摩テクノプラザ総合支援課 谷口 昌平 TEL 042-500-2360 FAX 042-500-2397

経営企画部広報室 竹内由美子 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

<http://www.iri-tokyo.jp/>

発表内容

◆多摩テクノプラザの知って得する支援技術

電子回路製品の設計支援について(13時35分～13時50分)

電子・機械グループの電子回路設計チームは、基板設計、伝送路解析、電磁界解析、非破壊検査など多様なツールを用いて回路設計支援を行っています。これらの装置や製品開発の支援事例を紹介します。

電子・機械グループ 仲村 将司

機械系製品の評価・計測支援について(13時50分～14時05分)

電子・機械グループの機械技術チームは、製品や材料の寸法や形状の測定、強度や硬さの評価、振動や疲労での耐久性の評価、3次元造形による製品開発支援等を行っています。これら支援事例を紹介します。

電子・機械グループ 鈴木 悠矢

繊維分野の産業資材への展開—金属繊維の活用事例紹介—(14時05分～14時20分)

近年、繊維・化学グループでは、新たな繊維技術の展開として、金属繊維を用いた産業資材向けテキスタイルの研究開発に力を入れています。企業との共同研究成果を中心とした、代表事例を紹介します。

繊維・化学グループ 窪寺 健吾

塗装品や金属品の断面観察からわかること(14時20分～14時35分)

製品の劣化や機能低下を評価するため、表面観察は解析の基本であり、加工プロセスや使用材料を把握するには、断面構造の解析が極めて重要です。多層構造の塗装品や金属品の断面解析について紹介します。

繊維・化学グループ 神谷 嘉美

◆知って得する連携機関情報

大学のノウハウの使い方(14時45分～15時05分)

よく、「産学連携は難しい」と耳にします。これは事実だと思います。ただ一方で、大学の使い方、先生方の研究への姿勢・考え方がわかれば、自分たちの事業と先生方の研究の一致点を見つけることは難しいことではなくなるのも事実です。今回は、そんな「大学のノウハウの使い方」をお伝えします。

首都大学東京産学公連携センター

コーディネート担当係長兼統括コーディネータ 中西俊彦氏

日本公庫のベンチャー向け融資制度のご案内(15時05分～15時25分)

政府系金融機関である日本政策金融公庫の概要と取組を紹介。創業支援にも力を入れている日本政策金融公庫では「資本性ローン」を取り扱っています。この制度はベンチャー向けの融資制度で、その特徴を事例を交えて分かりやすく説明します。

日本政策金融公庫 多摩創業支援センター 眞崎 恵介氏

◆特別講演(15時50分～17時10分)

「ロボット創造学入門」

ロボットは人造人間を理想として作られた造語ですが、人に役立つロボットを作るには、何も人間の形に拘る必要はありません。目的を達成する最適な形態を選択することが鍵となります。本講演では、演者がこれまで開発してきたヘビ型、歩行型、車輪型クローラ型などのロボットの設計事例を紹介しながら、実用的なロボット開発に不可欠な発想法とその具体化の方法論を紹介します。

東京工業大学名誉教授 SMS創造開発センター特別研究員
立命館大学客員教授・株式会社ハイボット取締役CTO



広瀬 茂男氏

◆イブニングセッション(17時15分～19時)

多摩テクノプラザの研究員の研究成果展示会場にて、参加者と講師、研究員が、軽食と飲み物とともに、気軽にディスカッション、意見交換をする会です。

会費:1000円(当日支払い)

会場:東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ会議室4